

	発行年月	タイトル	著者	在庫数
第1号	昭和55年8月	発刊にあたって	名越 勉	なし
		歴史民俗資料館の建設を前にして	矢城 正八郎	
		近藤教授のお話を聞いて	山本 善政	
		小田二号銅鐸の里帰り	名越 勉	
		最近の中部地区の発掘調査について	眞田 廣幸	
第2号	昭和56年1月	奈良の民俗博物館を見て	朝倉 秋富	なし
		「私たちの活動」	長尾 恵美	
		古墳見学	桑野 博朗	
		古墳を見学して	田村 明	
		秋の文化財めぐり 奥出雲「たたら」のあとを訪ねて	斎尾 絢	
		奥小山古墳群の調査について	森下 哲哉	
		北条町曲古墳発掘調査について		
第3号	昭和56年7月	昭和56年度を迎えて	名越 勉	なし
		長瀬高浜遺跡について(1)	清水 真一	
		萬葉のふるさと 国府町の文化財	松本 達之	
第4号	昭和57年1月	「倉吉商家町並保存対策調査の成果と今後の課題」	小野木 重勝	なし
		長瀬高浜遺跡について(2)	清水 真一	
		伯耆国分寺跡環境整備成る		
第5号	昭和57年8月	歴史公園開園記念講演 古代の倉吉と国分寺	佐藤 興治	3
		山際1号墳について	根鈴 輝雄	
第6号	昭和58年3月	上野遺跡(倉吉市三江)の子持壺	名越 勉	3
		グループあれこれ 倉吉郷土文化研究会	森下 哲哉	
		民俗研究会	藪中 洋志	
		倉吉市上神出土の祭祀遺物	根鈴 輝雄	
第7号	昭和58年8月	再び国府町を訪れて	杵島 真岐子	9
		奈良国立博物館美術室長 光森先生を迎えて	松本 達之	
		倉吉古文書を読む会		
第8号	昭和59年2月	誕生仏発見の喜び	牧田 朋子	20
		秋の文化財めぐり(津山周辺)	山本 善政	
		「三星踊り」あれこれ	朝倉 秋富	
		韓国文化財めぐり	根鈴 輝雄	
		余録	大西 隆章	
第9号	昭和59年9月	松ヶ坪遺跡出土「久米寺」銘の墨書土器	眞田 廣幸	28
		文化財講演会より「民俗資料のもつ意味とその活用」	勝部 正郊	
		伯耆一の宮異聞	藤原 節	
第10号	昭和59年12月	関金地蔵院 地蔵菩薩半跏像の修理について	松本 達之	なし
		古代のまつり 谷畑遺跡	土井 珠美	
		悴谷の大日と六観音	朝倉 秋富	
第11号	昭和60年8月	新しく国指定された文化財三件について		20
		真継文書にみる南条氏と鑄物師	日置桑左エ門	
		南九州古石塔研究会員をお迎えして	朝倉 秋富	
		事務局だより		
第12号	昭和61年2月	「鳥取県の文化財」あっせん		23
		文化財講演 倉吉と密教文化-倉吉付近の石塔について-	齊藤 彦松	
		秋の文化財めぐり 淀江町-米子市-岸本町-日野町	奥野 元應	
		進藤文書「足立書簡と本居書簡について」 -最近の「倉吉古文書を読む会」例会から-	伊佐田 靖之	
第13号	昭和61年10月	東アジアにおける古代の日本文化	町田 章	27
		倉吉市が新しく指定した三件の文化財について		
		弥生時代から古墳時代へかけての墓制について-三度舞大將塚の再検討-	名越 勉	
第14号	昭和62年3月	白鳳の誕生佛お里帰り	松本 達之	24
		敦煌をたずねて	名越 勉	
		秋の文化財めぐりに参加して	坂井 真琴	
第15号	昭和62年10月	随想 風土記の丘に想う	清水 義憲	26
		キビガラ人形と菊の節句	朝倉 秋富	
		延宝歌舞伎絵馬を確認	山脇 幸人	
第16号	昭和63年3月	文化財講演 奈良の都と伯耆国庁について-最近の発掘例から-	坪井 清足	22
		誕生釈迦仏 特別展について	松本 達之	
		秋の文化財めぐり 木食仏を訪ねて	斎江 彰宏	
第17号	平成元年3月	文化財講演会「祭祀遺跡と祭祀遺物」	金子 裕之	26
第18号	平成元年3月	倉吉博物館 蔵王権現展によせて	松本 達之	28
第19号	平成元年7月	「倉吉」地名再考	名越 勉	22
		重要文化財に指定された長谷寺の厨子について	根鈴 輝雄	

発行年月	タイトル	著者	在庫数
第20号 平成2年2月	「文化財だより」二〇号を祝う	名越 勉	23
	倉吉文化財協会の思い出－昭和三〇年代の事務局から－	朝倉 秋富	
	倉吉文化財協会の思い出	手嶋 義之	
	「文化財」についてほんのひとこと	長谷川 富三郎	
	史跡・文化財の保護活用について	山本 善政	
	文化財協会 発足三十五周年に想う	斎江 彰宏	
	三徳山文書と文書目録	日置桑左エ門	
	秋の文化財めぐり随感 吹屋のふる里村	広田 判権	
	文化財講演会「吉備の考古学」	間壁 忠彦	
第21号 平成2年12月	文化財の風化を憂う	伊佐田 靖之	27
	倉吉文化財協会設立三十五周年特別講演会「くらしの中の文化財」	佐藤 興治	
第22号 平成3年1月	北条町に遺る近世末・近代初期の地図類について	松本 達之	28
	向山古墳群宮ノ峰支群の発掘から 事務局通信 文化課設置陳情について 他	根鈴 智津子	
第23号 平成4年3月	文化財講演会要旨「名和長年と太平記」	富長 源十郎	23
	「太平記」の時代と武家文書	日置桑左エ門	
	太平記史跡めぐりに参加して	福嶋 泰夫	
第24号 平成4年3月	荒尾氏墓所の修復について	名越 勉	24
	倉吉荒尾を中心とした荒尾氏について	妙泉 弘宣	
	荒尾氏墓所 歴代の墓碑		
	倉吉荒尾氏墓所整備事業基金について		
第25号 平成5年3月	文化財講演会「大昔と現代」	佐原 眞	9
	広瀬廃寺	眞田 廣幸	
第26号 平成5年3月	文化財講演会「上淀廃寺を語る」	水野 正好	なし
第27号 平成6年1月	文化財講演会「たたら吹製鉄の調査」	潮見 浩	16
	秋の文化財めぐり 安来市史跡めぐり		
第28号 平成6年5月	不入岡遺跡の調査	竹中 孝浩	29
	重要文化財 長谷寺本堂内厨子の保存修理－保存修理委員会－		
第29号 平成6年10月	文化財講演会「大和と伯耆の前期古墳」	置田 雅昭	10
	周堤をもった竪穴式住居－夏谷遺跡の調査から－	高取 英雄	
第30号 平成7年3月	シンポジウム 「よみがえる古代の伯耆」開催される		3
	不入岡遺跡シンポジウムを終えて	名越 勉	
		松本 達之	
	感謝	山根 亮	
	広がる古代のロマン	斎江 彰宏	
		清水 義憲	
	「よみがえる古代の伯耆」シンポジウムによせて	山崎 勇	
	調査を回顧し、解明を聴き、大感激！	伊佐田 靖之	
		野口 誠	
		坂井 真琴	
		山田 光雄	
	「よみがえる古代の伯耆」シンポジウムに私の夢を見る	手嶋 義之	
		牧田 朋子	
		牧田 実夫	
	ロマン古代倉吉へ	高見 長昭	
	古代の人々に学ぶ	梓島 和江	
	今回の「よみがえる古代の伯耆」について	大岩 重夫	
Symposium “よみがえる古代の伯耆”を聴いて	千本 誠治		
	清水 敦子		
	山本 悟		
	福嶋 泰夫		
第31号 平成7年12月	文化財講演会「古代の山陰と朝鮮半島」	西谷 正	13
	夏谷遺跡出土の移動式竈	森下 哲哉	
	不入岡遺跡のオンドル状遺構	竹宮 亜也子	
	「秋の文化財めぐり」に参加して	大岩 重夫	
第32号 平成8年3月	国指定重要文化財 谷畑遺跡祭祀遺物について	根鈴 輝雄	26
	奈良時代の火葬墓－長谷遺跡	名越 勉	
	文化財情報 平成7年度 発掘調査情報		
第33号 平成8年12月	文化財講演会「年輪から古代をさぐる」	光谷 拓実	なし
	大御堂廃寺出土の佐波理匙	根鈴 智津子	
	「秋の文化財めぐり」に参加して	山本 悟	
第34号 平成9年3月	湯原文書の伝来	日置桑左エ門	25
	大原廃寺5次調査の成果	加藤 誠司	
	平成8年度 発掘調査情報		

	発行年月	タイトル	著者	在庫数
第35号	平成10年2月	郷土玩具の復活を 大御堂廃寺の木樋	名越 勉 根鈴 智津子	なし
第36号	平成10年3月	倉吉文化財講演会「古代伯耆の多様な寺々」-大御堂廃寺をふまえて- 「倉吉古文書を読む会」最近の学習より 荒尾光就家譜を中心に	森 郁夫 伊佐田 靖之	なし
第37号	平成11年3月	倉吉文化財講演会「古代出雲の弥生青銅器」 歴史に育まれたまちを訪ねて	松本 岩雄 根鈴 智津子	28
第38号	平成11年3月	倉吉の町並み-重要伝統的建造物群保存地区の選定によせて- 異国のけもの-大御堂廃寺出土の獣頭	眞田 廣幸 根鈴 智津子	なし
第39号	平成11年10月	倉吉文化財講演会「天女伝説について」 河原町の地蔵尊について	野津 龍 山脇 幸人	なし
第40号	平成12年3月	倉吉荒尾家本家・分家の家譜を読んで 秋色と朝霧を楽しみながら三次へ	伊佐田 靖之	26
第41号	平成13年2月	倉吉文化財講演会「倉吉の木綿と千刃扱」 不入岡遺跡、国史跡に	朝岡 康二 森下 哲哉	22
第42号	平成13年3月	古代韓国の文化遺産-古都慶州の遺跡と遺物を中心に- 倉吉市は小京都？ 文化財保護法50周年記念<文化財保護功労者>に名越勉会長が表彰	根鈴 輝雄 名越 勉	19
第43号	平成14年1月	倉吉文化財講演会 土方稲嶺と円山応挙 奥出雲横田町を訪ねて	小谷 恵造	19
第44号	平成14年3月	大御堂廃寺跡 国史跡指定 「国分寺シンポジウム」開催される！ 法華寺畑遺跡環境整備事業の完成 野口1号墳出土須恵器の保存修理 三明寺古墳の石積復元	根鈴 智津子 岡本 智則 加藤 誠司	31
第45号	平成15年2月	平成14年度文化財講演会 古墳時代の倉吉 弥生墳丘墓から古墳へ 秋の文化財めぐり 山名氏の風格漂う村岡藩城下町と大乘寺の応挙の襖絵	和田 晴吾	26
第46号	平成15年3月	100年前の打吹公園 朝倉秋富先生を悼む 手嶋義之先生を悼む	山脇 幸人 眞田 廣幸 妙泉 弘宣	28
第47号	平成16年3月	文化財講演会「弥生時代の山陰と畿内-山陰弥生社会の底力を見直す-」	藤田 憲司	25
第48号	平成16年3月	創立50周年記念事業について 史跡伯耆国片跡の調査 新指定倉吉市文化財	名越 勉 加藤 誠司 森下 哲哉	24
第49号	平成18年6月	秀吉の鳥取進出と東伯耆-倉吉の情勢- 中・近世の倉吉の遺跡 秋の文化財めぐり	日置桑左エ門 岡平 拓也 岡平 拓也	21
第50号	平成18年8月	倉吉市指定史跡「倉吉市荒尾氏墓所附位牌群」 市指定無形文化財 高城牛追掛節	森下 哲哉 根鈴 智津子	24
第51号	平成19年1月	「はこた人形」のルーツを探る 鑄物師の歴史-因伯の鑄物師を中心にして-	名越 勉 斎江 彰宏	27
第52号	平成19年3月	鑄物師の歴史 「倉吉町」と刻銘された鰐口-智頭町駒蹄鰐口-	斎江 彰宏 眞田 廣幸	25
第53号	平成20年1月	平成19年度文化財講演会「弥生時代における地域社会の成立」 地域に伝わる文化財の保存と活用について-天保の給地図補修事業を終わって- 地名と神名からみる「東伯耆のタタラ製鉄」	高田 健一 生田 淳美 牧田 朋子	25
第54号	平成20年3月	長谷寺の建造物について 観音信仰と長谷寺	松本 絵理 奥野 寛應	24
第55号	平成20年12月	平成20年度文化財講演会 黄泉の国の風景-横穴式石室の世界-	亀山 行雄	25
第56号	平成21年3月	絵馬群にみる人々の祈り 長谷寺の縁起について 倉吉の国登録有形文化財~倉吉大店会から山陰民具まで~	原島 知子 大嶋 陽一 森下 哲哉	25
第57号	平成22年3月	平成21年度文化財講演会 青谷の骨の物語 秋の文化財めぐり 源平合戦の舞台須磨と荒尾志摩崇就奇進の敦盛画像	井上 貴央 箕田 拓郎	25
第58号	平成22年3月	戦国時代の社会生活の一面~鳥取の記録と文書について~ 東伯耆国人南条氏と戦国社会	日置桑左エ門 岡村 吉彦	3
第59号	平成23年2月	平成22年度文化財講演会 鳥取県の仏像-倉吉を中心にして- 仏像調査から	根立 研介	25
第60号	平成23年3月	因幡・伯耆における中世墓の世界 ある禅僧の見た中世山陰 新指定文化財の紹介	中森 祥 倉恒 康一	17
第61号	平成24年3月	青谷上寺地遺跡を掘る~弥生人の交流~ 天保飢饉の供養塔 秋の文化財めぐり	久保 穰二郎 箕田 拓郎 牧田 朋子	22
第62号	平成24年3月	久米郡三十三観音霊場巡りについて 倉吉市打吹玉川重要伝統的建造物群保存地区の拡大選定によせて 新指定文化財の紹介	根鈴智津子 森下 哲哉	22

	発行年月	タイトル	著者	在庫数
第63号	平成25年3月	民具の保存と活用を考える 忘れられていた禅僧蘭陵和尚と倉吉の人々	石野 津子 坂出 祥伸	24
第64号	平成25年3月	大江磐代君と明治以降の顕彰活動 古文書からみる長谷寺 小鴨神社所蔵三十六歌仙額と播州宍粟郡 秋の文化財めぐり	大嶋 陽一 原島 修 関本 明子	22
第65号	平成26年3月	伯耆の中世石塔 就任にあたって 秋の文化財めぐり	池上 悟 眞田 廣幸	20
第66号	平成26年3月	鳥取県の石造物―五輪塔と宝篋印塔を中心に― 五輪塔から墓碑へ	中森 祥 牧田 朋子	24
第67号	平成27年3月	倉吉・四王寺と四天王像について 四王寺の祭りについて	近藤 謙 櫻村 賢二	23
第68号	平成27年3月	今、倉吉でよみがえる山上憶良 島遺跡再考―鳥取県の縄文時代研究―	福井 伸一郎 森下 哲哉	27
第69号	平成28年3月	平成27年度 国分寺研究の現状と課題 新登録文化財の紹介	上原 真人 勢村 茉莉子	27
第70号	平成28年3月	軒瓦から見た伯耆国庁と国分寺の造営 「伯州瀧山寺」銘の鰐口	妹尾 周三 眞田 廣幸	32
第71号	平成29年1月	第26回倉吉学講座 伯耆国分寺跡の発掘調査―昭和40年代のころ― 新指定・登録文化財のご紹介	名越 勉 伊藤 泉美	28
第72号	平成29年3月	矢送庄の成立と伝説矢留荒神について	牧田 朋子	33
第73号	平成30年2月	倉吉往来土橋 万延2年「御普請部屋日記」より 新指定・登録文化財の紹介	牧田 朋子 猪口 亜也子	36
第74号	平成30年3月	平成29年度文化財講演会 倉吉ゆかりの文化財の魅力 吉田保水筆「五百羅漢図」・狩野探幽筆「荒尾嵩就像」 鳥取県中部地震の被害と復旧状況について	門脇 むつみ 根鈴 智津子	27
第75号	平成30年12月	中世東伯世の水運 羽衣石南条氏と伊勢の橋村家文書 謎の城跡―四十二丸城跡―	日置左工門 眞田 廣幸	20
第76号	平成31年3月	平成30年度第31回倉吉学講座 名和長年とその一族 ―緑陰に眠る山寺跡―船上山―	山本 隆一朗 眞田 廣幸	32
第77号	令和2年2月	令和元年度文化財講演会 古代寺院建設の波、山陰へ ―大和飛鳥寺から伯耆大御堂廃寺跡への流れ― 大御堂廃寺の設計を復元する	花谷 浩 根鈴 智津子	25
第78号	令和2年3月	令和元年度第33回倉吉学講座 国特別史跡 斎尾廃寺跡を考える 令和元年度秋の文化財めぐり	野口 良也 事務局(片岡)	25
第79号	令和3年1月	令和元年度第34回倉吉学講座 倉吉荒尾家の菩提寺・位牌所と墓所 「倉吉陣屋」の建物について	大嶋 陽一 眞田 廣幸	4
第80号	令和3年3月	令和2年度文化財講演会 古代・中世山寺の新視点～三仏寺・大日寺を中心に～ 「伯耆民談記」に記された大日寺 新指定・登録文化財のご紹介	久保 智康 眞田 廣幸 事務局(猪口)	なし
第81号	令和4年3月	「長谷寺の鐘」銘の国英神社梵鐘の銘文を見直す 「長谷寺の歴史 1300年の祈り」を読んで考えたこと	眞田 廣幸 大嶋 陽一	88
第82号	令和4年3月	史跡大御堂廃寺跡整備基本計画 ～感じる！伝える！！山陰が誇る大伽藍と仏教文化～ 大御堂廃寺跡出土遺物の分布傾向とその再検討について 大御堂廃寺軒丸瓦Ⅷ類の変遷	山増 諭美子 小田 芳弘 箕田 拓郎	109
第83号	令和5年3月	弥生時代の鉄器文化―倉吉・中尾遺跡出土鉄器に触れて― 中尾遺跡の概要～弥生時代中期の集落を中心に～	村上 恭通 片岡 啓介	64
第84号	令和5年3月	海又1号墳について	高田 健一	42
第85号	令和6年3月	令和5年度文化財講演会 伯耆国久米郡成立前史―国府成立の歴史的前提―	森田 喜久男	41
第86号	令和6年3月	第38回倉吉学講座 古代の水辺の祭祀場と道路を掘る ―石塚廃寺東遺跡と大鴨遺跡の調査成果―	小口 英一郎	36
第87号	令和7年3月	令和6年度文化財講演会 国分寺研究の最前線と伯耆国分寺	須田 勉	74
第88号	令和8年3月	令和7年度文化財講演会 伯耆守護山名氏の盛衰 新指定・登録文化財の紹介	伊藤 大貴 事務局(片岡)	78